

吉岡公民館 お茶の間通信



吉岡公民館 Tel 66-5258

西条市吉岡公民館だより

検索

「西条市吉岡公民館だより」で検索するとカラー版がご覧になれます。

1月末現在	(前月比)
世帯数 983 世帯	(±0)
男 1,104 人	(+5)
女 1,165 人	(±0)
合計 2,269 人	(+5)

落語で初笑い



輪投げ大会



1月25日(木) 新居浜・西条で活躍している社会人落語家の芸乃とっkunと芸乃虎つぼのお二人をお迎えして、新春落語を開催しました。皆さんの大きな笑い声に包まれ大盛況でした！

1月18日(木) 輪投げ大会を開催しました。2人ずつのペアを作り合計点を競い合いました。なかなかの白熱した試合になり、皆さんとても盛り上がりました。

令和5年度 東予西中学校 「少年の日」 記念行事



2月5日(月)、東予西中学校2年生の「少年の日」記念行事が行われました。1人ずつ四字熟語を使っての座右の銘を発表した後、入学からのあゆみをスライドで鑑賞、午後からは砥部焼のマグカップに絵付けをして、決意を新たにしました。大人への第一歩ですね。おめでとうございます！



男の料理教室



1月23日(火) 久しぶりの男の料理教室を開催しました。ちゃんこ鍋・やみつきおにぎり・カリカリとり皮ポン酢・いちご大福を作りました。とても美味しく出来上がり、皆さんで楽しくいただきました。

吉岡子どもタイム



1月24日(水) アイロンビーズを作りました。みんな集中して上手に作りました。

2月7日(水) 風船鬼を作りました。たくさん作った後は大ホールで遊びました。

昔のあそび



1月16日(火) 吉岡小学校の1年生が、老人クラブ、有志の皆さんに竹とんぼ、輪ゴム鉄砲など懐かしい遊びを教えてくださいました。

古典講座受講生募集!

- 日時: 令和6年4月~令和7年3月まで
毎月おおむね第1土曜日 13:30~15:30
(初回は4月6日)
 - 場所: 西条市佐伯記念館・郷土資料館
 - 内容: 「大鏡」「百人一首」
 - 講師: 武田 真 氏
 - 定員: 60人(先着)
 - 受講料: 年3000円程度
その他 テキスト料(実費)
 - 受付期間: 2月9日(金)~3月8日(金)
 - 申込先・問合せ: 西条市佐伯記念館・郷土資料館
(0898-68-4610)
- ※後援: 西条市教育委員会



【3月のごみ収集日】※当日8時までにお出しく下さい
ビン、ペットボトル・・・20日(水)
古紙の日・・・27日(水)



春一番コンサート in 吉岡

吉岡公民館でサークル活動をされている親父バンド、
その他のバンドの方々がコンサートを行います。
素敵な歌声や生演奏を聴きにきませんか？

3月10日(日) 13時開場
13時30分開演～17時頃まで

出演グループ♪(演奏曲)

司会 大浜省一

- ① 3636 ～ハル/ヒ、愛を知るまでは、双葉 他～
- ② サンイチバンド ～流星、悲しみのセールスマン、天国の扉 他～
- ③ チロリン村 ～イマジ、花の首飾り、頑張らなくていいよ 他～
- ④ 助さん格さんバンド ～桜、にじいろ、水曜日の朝 他～
- ⑤ ナースログ ～白い波、黄昏のビギン、愛の花 他～
- ⑥ 親父バンド ～とんぼ、ららら、紙ひこうき 他～



はるらんまん♪

お花見にでかけよう!

綺麗な桜を見ながら美味しいお弁当を食べましょう。

日時：4月3日(水) 10:30～

集合場所：吉岡公民館(乗り合わせて行きます。)

コース：本谷公園

お弁当代：500円(お茶付き)当日集金します。

持参物：タオル・飲み物

締切日：3月29日(金)

申込先：吉岡公民館 ☎66-5258

※準備の都合上必ず申込をお願いします。

※雨天時は公民館でお弁当を食べます。

防災ゲーム体験

ゲームを通じて防災の事を学びませんか？

- ・持ち出し品ゲーム
- ・防災すごろく



◆日時：3月8日(金) 13:30～

◆場所：吉岡公民館 2階会議室

◆申込先・問い合わせ 吉岡公民館

☎66-5258



第42回全国中学生人権作文コンテスト「愛媛県大会」

(主催：松山地方法務局・愛媛県人権擁護委員連合会)

で西条市内中学校の下記生徒3名が入賞されました。

- 西条北中学校 大村和希羽 (愛媛県教育委員会教育長賞)
- 小松中学校 前迫 海音 (南海放送賞)
- 東予東中学校 神野 良太 (あいテレビ賞) ※敬称略

この3名の方の人権作文を、人権のチラシ(2024年1月～3月)で紹介します。

西条市人権教育協議会
西条市人権擁護課

【優秀賞】南海放送賞

「一人一人違う個性」

西条市立小松中学校 2年 前迫 海音

小学校三年生のとき、家庭の事情で一度だけ転校を経験したことがある。転校先の小学校のクラスには、みんなからのけ者にされている子がいた。その子は、班での話し合いや二人組での学習で、まるで教室にいないかのように扱われていた。転校してから初めてできた友達からも、

「〇〇君とは話さない方がいいよ。変な人だから。」と、忠告を受けた。それにも関わらず私とその子と話そうとすると、

「前に話さない方がいいよって言ったよね。」と、怒った口調で何度も忠告された。

「どうしてあの子はみんなからのけ者にされるのだろう。落ち着いているし、優しく、穏やかな性格のようなのに、何がだめなんだろう」と、という私の疑問はどんどん膨れ上がっていった。「あの子が悲しそうな顔をして、一日中一人で学校にいるのに、どうして誰も話しかけないのだろう？これは絶対におかしい。」と私は思うようになった。

ある日席替えがあり、たまたまその子の隣になった。とてもうれしかった。仲間外しにしている方がおかしいと思いつつも、その子に自分から話しかける機会がなかったからだ。「やっとお話ができる！」私は席を移動させて、すぐに話しかけた。すると、その子は突然近づいてきた私に少しおびえながらも話し返してくれた。それからは、少しずつ話してくれるようになっていった。そして、その子から話しかけてくれることも増えてきた。逆に、最初友達になって私に忠告をした子とは、だんだん話さなくなったが、構わないと思っていた。あるとき、

「失礼なことを聞くんだけど、どうしてみんなから仲間外れにされるようになったのか、いやじゃなかったら教えてほしい。」

と尋ねてみた。するとその子は、

「自分はみんなと違って、男の子なのに女の子が持っているものに憧れていた。だから、筆箱や服も、女の子が持つような物を学校に持って行ったり、着て行ったりすると、周りのみんなに馬鹿にされたり気味悪がられたり、笑われたりするようになった。」

と、悲しそうな顔で教えてくれた。そして、「こんなこと聞いたら、引いちゃうよね。」と、目に涙を溜めて私に言った。

「よくここまで我慢してたね。そんなに我慢しなくていいよ。泣きたいときは思いっきり泣いていいんだよ。」

私は自分なりの精一杯の優しさを言葉に込めた。その子は号泣しながら、私に何度も何度も「ありがとう。」と言った。学校からの帰り道、誰もいない公園で二人で気が済むまでたくさん泣いた。それから、「また明日ね。」と互いに言って、家に帰った。

その日の夜、私は考えた、どうしてみんなは笑ったり馬鹿にしたりして、あの子のしたいことをさせてあげないのだろう。生きていくのに男と女などの性別は大切だと思うけど、性が他のみんなと少し違うことは、そんなに笑われることなのか。人生は一度きりだから、自分の思うように生きていきたいときと誰もが思うはずだ。あの子が自分らしくいられるように、見方や考え方を変えられないのだろうか、と思った。そして、私だけでもいいから、あの子のすることや考えることに味方でいつづけよう、そう自分に誓った。

若者が動けば、未来は変わると思う。日本の社会は、性の多様性を認めるべきだと言いつつも、テレビやネットなどでは度々体の性と異なる心の性を持つ人を気味悪がったり笑いのネタにしたりしているのを見ると、人が心の内側に隠している悲しみや苦しみに寄り添おうとはしないで、だから、理解されない重さや苦しさに耐えられず、命を絶つ人さえいる。その悲劇を生むまで人の心の痛みを気付かず、いたずらに攻撃を続ける人が何と多いことだろう。

私は、一人一人の個性を大切にできる大人になりたいと思う。そして、私の周りにもその思いを広げ、一人一人の個性を大切にできる社会を作りたい。小さな子どものときから、老人になって命を終えるまで、生まれながらに与えられた性に苦しむなんて悲しすぎる。古い価値観から自分を解き放ち、誰もが楽しく笑顔で生活できる世界を、今、私達若い世代から実現させていきたい。